



ワシントン日本語学校事務局

HOT LINE (301)962-7415

Phone (301)962-7410

FAX (301)962-7411



はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/

始業式の意義

校長 三原 洋一

本日は、令和6年度の入学式を挙行いたします。

本年度は、幼稚部20名、小学部1年51名、合計71名のフレッシュな子ども達が入学します。ご入学おめでとうございます。

一人一人が希望に満ちたスタートを切れるよう職員一同で支えてまいります。



さて、先週は、5年ぶりの始業式を、2部に分けてではありますが、対面で実施することができました。久しぶりの集合にも関わらず、たいへん静かに、整然と集合し、校歌斉唱に始まり、校長や先生方、代表の生徒の話を静かに聞くことができました。まさに、日本の公立学校の始業式を再現できたと思っています。

本年度、この始業式を、生徒を体育館に集

めて実施したのにはねらいがあります。

学習指導要領の特別活動には、学校行事のねらいが次のように示されています。

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

また、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うことも大切であると謳われています。

つまり、始業式は学校生活の節目となることで、子どもたちに自らの気持ちを切り替える契機を与えるという役割を担っているのであると考え、始業式を実施しました。



私としては、この式の中で、静かに整列し人の話を聞くことで、「集中力」「傾聴力」を養うことができると考えました。

さらにいえば、ワシントン日本語学校の生

徒が一堂に会することによって、「仲間意識」や、「団結力」、集団への「所属感」を養うことができます。

その上で、低学年の児童には、上級生の立派な姿を見て憧れる気持ちや、上学年の生徒には、下の学年へのお手本になろうとする思いが生まれ、自己有用感や自尊心が高まってくることを期待しています。



式の中では、担当の学年の代表児童生徒から、新しい学年を迎えての決意を發表しました。どの代表も堂々と發表を行い、新年度への意気込みを感じることができました。

そして、子どもたちには、新しいクラスメート、新しい先生との出会いがありました。この出会いを大切にして、この1年お互いを信頼しながら楽しい学校生活を、そして、充実した41日の学びを進めていってほしいと思います。



令和6年度の、本校児童生徒の益々の活躍を大いに期待しています。

第65回卒業証書授与式より

3月23日(土)第65回卒業式を挙行了しました。在アメリカ合衆国日本国大使館公使 佐藤様をはじめご来賓の皆様、保護者の皆様、教職員に祝福され、卒業生113名がそれぞれの学部を卒業しました。大きな夢に向かって歩み続けてほしいと思います。

